



高木たけし

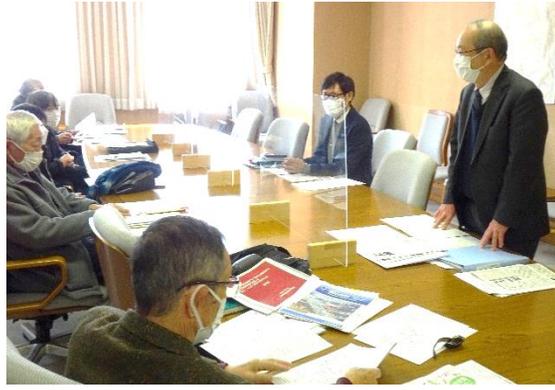


みよし剛史

発行：日本共産党
福山市議会議員団
津之郷町津之郷 970-1
084-952-2662

市民要求懇談会を開催

市政に声を届けます



け、法令にのっとった手続きをせずに土地の収用手続きをおこなったと報告。「住民をだますような県のやり方に黙っていられない」と訴えました。

日本共産党市議団は2月17日、市民要求懇談会を開きました。大型道路の建設問題や福山市の社会保障に対する姿勢などについて、意見を交わしました。

県道「福山沼隈道路」の建設予定地の地権者で土地収用（所有権を国や自治体が強制的に取得すること）の対象となっている住民は、県が地権者の声を無視し続

パブリックコメントに、あなたの意見を 環境基本計画を改定

3月8日まで、福山市は「第2次環境基本計画」素案（第2期・基本目標1）に対する市民の意見を募集しています。基本目標1は気候変動対策についてです。

温室効果ガス排出削減目標が改善

計画素案では、福山市内のCO2などの温室効果ガス排出量について、2013年と比べて2028年に31%削減、2030年に39%削減、2050年にカーボニュートラル（排出の実質ゼロ化）達成という目標を定めています。

太陽光発電の補助制度が新設

計画素案では、市内の再生可能エネルギー導入容量を、現在の254メガワットから2030年に1034メガワットへと約4倍に増やす目標も定めました。

日本共産党市議団は、3月議会の一般質問や委員会で、市民の声を届けるために全力をつくす決意です。

第1期の計画では、2030年の削減目標はわずか8・2%でした。日本共産党市議団は目標の引き上げを何度も求めており、一定の改善が実現しました。しかし、気候危機を防ぐには日本は2030年までに60%の削減が必要と指摘されており、福山市の目標は依然として低すぎます。

産業部門の排出を削減してこそ

市の計画素案は評価でき

る点もありますが、2050年にカーボニュートラルを実現するために実効性があるのかは疑問です。福山市の温室効果ガスの排出源の構成は他自治体と大きく異なります。産業部門からの排出割合が、国全体では31%ですが、福山市では88%です（2013年度）。これは、CO2の排出量が全国で2番目に多い大手製鉄所（2017年度）があることが影響しています。産業部門からの排出を抑えることが目標達成に不可欠です。

より良い計画にするために、ぜひみなさんの意見を上げてください。計画素案は、市ホームページや市役所、環境センターで閲覧できます。意見提出はメールや郵送、ファックスでも可能です。

計画素案と意見用紙は日本共産党事務所（津之郷町津之郷970-1）にも用意するので、「ご利用ください」が根強く上がっています。市民団体は道路計画について地域での学習会の実施を求めています。国も市も「すでに都市計画決定されているため、現段階で学習会などを予定はない」との回答です。道路が必要だというなら、学習会を開いて説明するべきです。

「福山道路」建設計画 市民団体が国・市と交渉

「福山道路」建設計画について、市民団体が国土交通省や福山市に質問書を提出しました。2月16日、その回答について市民団体が国、市と交渉し、みよし剛史市議も参加しました。多治米町や川口町などの住宅密集地を巨大な「福山道路」が貫く計画には、反対の声